



安全・確実そして笑顔を運ぶ



バス運転士の活躍

こどもの頃に、大きなバスの車体を自在にあやつる運転士さんを見て、カッコよく見えて憧れた方も多いのではないのでしょうか。

運転士という職業の最大の責任は、車外の道路交通はもとより、車内の状況にも十分に気を付けて、乗客の皆さんを安全に確実に目的地まで送り届けることです。

さらにもう一つ忘れてはならないのが、まち中に、あるいは観光地に毎日、皆さんの笑顔運び、地域の活性化に貢献することです。

だから、だれにでもできる仕事ではありません。

みんなの役に立ちたい、地域に貢献したい、みんなの笑顔運びたい、そう強く思うあなただからできる仕事です。

公共交通機関として社会への貢献度も大きく、その重要性、必要性も広く利用者に認められた大切な仕事です。



まずは説明会に行ってみよう！

各地のバス事業者が実施している説明会に行ってみよう。中には女性運転士との座談会を行うバス事業者もあります。



職場を見てみよう！

施設の整備や日頃の勤務の仕方などを説明を受けると安心です。



運転体験してみますか？

バス事業者によっては、運転免許教習所やバスの車両整備場内などで実際に運転を体験させてもらえる場合もあります。



バス運転士になるまで、なった後のキャリアアップ

大型二種免許がなくても大丈夫！

バスの運転には大型二種免許が必要ですが、普通免許しか持っていない方は、養成制度を活用して経済的な負担を軽減しながら免許を取得することも可能です。その場合は、免許取得後に入社していただくことになります。

入社後の乗務訓練

入社後は、運転技術はもちろん、車内装備品の操作方法や接客訓練、関連する法令について約1か月半の基礎訓練を終えてから、営業所に配属となります。配属後は、実際に運行する路線ごとの特性を踏まえた、より実践的な訓練を行います。

運転士デビュー

訓練期間が終了したら、晴れて運転士としてお客様を乗せての乗務となります。こどもからお年寄りまで、通勤や通学、通院や観光など様々なお客様が利用されるので、基本に忠実に、そして安全で快適なサービスを提供します。

経験を積んでキャリアアップ

路線バスで経験を積んだあとは、希望や適性により、高速バスや貸切バスのような大型車両の乗務や、運行管理者などのマネジメント業務を目指すことでキャリアアップが可能です。もちろん、路線バスの運転士として更なる経験を積み、後進の指導的役割を担う道もあります。

※上記は一例です。内容は会社によって異なります。

活躍する女性運転士

きっかけ

幼いころから大型車両が大好きで、大型車両を運転する女性ドライバーを見かけては強く憧れていました。免許も無く、子供もまだまだ幼い事から諦めておりましたが、県北バスで運転士説明会に参加し、子育て中の女性運転士も活躍していることや運転士養成制度のことを知り、挑戦したいと思ったのがきっかけです。

やりがい

お年寄りの多い地域ということもあり、お客様から直接「助かった」「バスが来るから出かけられる」等、感謝の言葉を頂いた際にやりがいを感じています。また「女なのによくやってるね」「笑顔がいいね」と言っていた際には、自分の夢でもあったこの職業を選んでよかったと思っています。



岩手県北自動車(株)山下さん

活躍する若手運転士

バス運転士を職業とした理由

幼いころから、バス運転士という職業に憧れていました。そんな時に、岩手県北バスのバス運転士募集の広告を見つけました。大型二種免許は所持していませんでしたが、県北バスには養成制度があると知り、憧れていたバス運転士という職業を目指すことにしました。



岩手県北自動車(株)針生さん

仕事に対する思い

公共交通機関の一員としての職責を強く感じます。また、貸切バスに乗務し、知らない土地へ行って新たな発見をしたり、地域の方々と触れ合えることに喜びを感じています。

様々な支援制度

○大型二種免許取得支援制度

多くのバス事業者で、大型二種免許取得を支援しています。支援の仕方は会社によって異なりますが、全額会社負担、半額会社負担、全額貸付、5年間勤務により返済免除などがあります。

○各種表彰制度

優良運転士に対する表彰制度、無事故表彰、永年勤続表彰のほか、報奨金を支給する会社もあります。また、プロの運転士としての技術を競うバスドライバーズコンテスト等も開催されています。

○女性が働きやすい環境づくり

女性専用のトイレ、更衣室、休憩室、シャワールーム、宿泊施設の整備、託児所の設置、制服デザイン、マタニティ休暇、短時間勤務、小型のバス運転への配置など女性が働きやすい環境づくりに取り組んでいるバス事業者も増えています。

○高校卒業生でも就業できる環境づくり

まだ免許取得資格がない高校卒業生には、運転士養成員として採用し、入社後3年間は整備補助業務、営業所補助業務、お客様相談室など基本について研修しつつ、運行管理者の資格勉強を行い、その後、免許取得、乗務訓練を経て運転士になるといったプログラムがあるバス事業者もあります。

○キャリアアップ

運転士としては、コミュニティバス⇒路線バス⇒貸切バス⇒高速バス等といったステップアップのほか、運転士から運行管理者への登用、管理部門との人事交流などに取り組んでいるバス事業者もあります。



ドライバーズコンテスト風景
【十勝地区バス協会】

